

事務局からのお知らせ



## 1. 行事報告

### (1)WHEC16 報告会

平成 18 年 7 月 20 日(木)13:00 よりタワーホール船堀にて開催。

参加者数 114 名(会員 73 名、非会員 41 名)

### (2)臨時講演会 (水素エネルギー利用技術と CO2 固定化技術に関する討論会)

平成 18 年 9 月 12 日(火)16:00 より東京大学工学部 武田先端知ビルにて開催。講演およびパネルディスカッション。講演は、「Decarbonised Fuel and Carbon Capture and Storage」と題して Group Vice President, Technology, BP, Tony Meggs 氏、「我が国における二酸化炭素の分離回収・隔離技術開発の動向」と題して経済産業省 産業技術環境局 環境政策課長補佐 西尾匡弘氏、「天然ガスと燃料電池が切り拓く水素社会」と題して東京ガス株式会社常務執行役員 村木茂氏によってなされた。参加者数 170 名(会員 72 名、非会員 98 名)

### (3) 第 119 回定例研究会

平成 18 年 10 月 20 日(金)13:00 より九州大学伊都キャンパスにて開催。講演は、「水素エネルギー社会の実現に向けた九州大学の取り組み」と題して、九州大学 水素利用技術研究センター長・教授 佐々木一成氏、「高圧水素環境下長時間使用での材料特性の研究開発 水素材料強度特性研究チームの取り組み」と題して(独)産業技術総合研究センター水素材料先端科学研究センター・水素材料強度特性研究チーム長 松岡三郎氏、「水素ステーション用蓄圧器の開発」と題して九州大学工学研究院知能機械システム部門教授 鬼鞍宏猷氏、「膜型反応器を用いる CH<sub>4</sub>からの新しい H<sub>2</sub>製造改質プロセス」と題して九州大学工学研究院応用化学部門教授 石原達己氏、「定置用燃料電池に関する西部ガスの取り組み」と題して西部ガス株式会社家庭用エネルギーシステムグループ 山口竜一氏によってなされた。

講演予稿は、本誌に資料として掲載している。参加者数 131 名(会員 62 名、非会員 69 名)

### (4) 団体会員特別見学会

平成 18 年 11 月 10 日(金)14:30~17:00。東京ガス株式会社千住テクノステーションを見学。見学者数 46 名。

### (5) 第 26 回水素エネルギー協会大会

平成 18 年 12 月 14 日(木)、15 日(金)タワーホール船堀にて開催。特別講演は、「イオン液体とエネルギー変換」と題して、横浜国立大学大学院 教授 渡辺正義氏、「水素エネルギーに伴う外部便益の評価」と題して独立行政法人産業技術総合研究所 赤井誠氏によってなされた。口頭発表 32 件、ポスター発表 21 件。参加者申込者数 155 名(団体会員 45 名、個人会員・学生会員 44 名、協賛会員(含学生)28 名。非会員(含学生)38 名)

## 2. 行事予定

### ■第 9 回アジア水素エネルギー会議：会告 130 頁参照

平成 19 年 2 月 5、6 日。

東京ファッションタウン。

### ■FC EXPO2007「第 3 回国際水素燃料電池展」：

平成 19 年 2 月 7~9 日。

東京ビッグサイト。共催。

### ■第 120 回定例研究会：

平成 19 年 3 月 8 日(木)。

タワーホール船堀 5 階小ホール。

### ◆協賛・後援等行事

### ◆国際会議情報など

本協会ホームページをご覧ください。

<http://www.hess.jp>

ENEOS 水素基金など有用な情報が適宜載っています。

## 3. 入退会 (平成 18 年 6 月 16 日~12 月 15 日)

### (1) 新入会会員

・団体会員：なし

・個人会員：(所属機関名)

三浦 東 (名古屋経済大学)

Matthew Ivity (GM Asia Pacific Japan FCA)

天尾 豊 (大分大学)

蓮実 文彦 (沼津工業高等専門学校)

平井 秀一郎 (東京工業大学)

裊 相哲 (佐賀大学)

江口 浩一 (京都大学大学院)

田坂 明政 (同志社大学工学部)

布施 智久 (理化工業株式会社)

藤田 貴男 (株式会社豊田中央研究所)

- ・学生会員：なし
- (2) 退会会員
  - ・団体会員：なし
  - ・個人会員：なし
  - ・学生会員：なし
- (3) 除名取消し  
加藤裕一
- (4) 現在会員数（上記新入会者含む）
  - ・団体会員：58社
  - ・個人会員：185名（休会1名含む）
  - ・学生会員：6名

#### 4. 会員増強に対するお願い

国内外では以前にもまして水素エネルギーに対して熱い目が向けられてきております。そこで、この機会をとらえますますの会員の増強をはかり、更に活動の充実を図りたいと考えております。会員の関係者で、水素エネルギーに興味のある方または応援して頂けそうな方々にお声を掛け入会のお誘いをして頂けたら有り難いと思っております。本会の活動及び入会の案内は、本紙の後半に記載されておりますので、宜しくお願い致します。

#### 5. 水素エネルギーニュース発行について

年2回の会誌の発行のみでは、なかなか水素に関する情報をタイムリに会員の皆様にお届けできないという反省に基づいて、水素エネルギー協会編集委員会では、「水素エネルギーニュース」を不定期の発行ですが皆様にお届けしております。また、会員諸氏からの忌憚りの無いアドバイスを心よりお待ちしております。併せて、情報の提供をして頂けたら幸いです。連絡先は、下記「広告掲載のお願い」の欄に記した所です。

#### 6. 広告掲載のお願い

会誌及び水素エネルギー協会大会予稿集に掲載する広告を募集しております。1頁当り3.5万円です。

#### 連絡先：

横浜国立大学 教育人間科学部内  
水素エネルギー協会事務局  
担当：谷生 重晴、米富 美登代  
TEL&FAX：045-339-3996  
E-mail：secretary@hess.jp  
Web：http://www.hess.jp